

光触媒によるソーラー水素の経済性

太陽光応答光触媒による水の全分解によるソーラー水素の製造コスト目標

2012年に経済産業省の直轄事業として開始され、現在 NEDO (New Energy and Industrial Technology Development Organization : 新エネルギー・産業技術総合開発機構) の事業として継続実施中の“人工光合成”プロジェクト(二酸化炭素原料化基幹化学品製造プロセス技術開発¹⁾)は、太陽光に応答する光触媒による水の分解によって発生する水素(以下、ソーラー水素)と産業部門で排出される CO₂を原料として化学原料であるエチレン、プロピレン等を生産する為の各種の革新的触媒プロセス技術の開発を進めてきた²⁾。

・・・